

私たちは、手稲山から流れる川とその源流である手稲山の森をフィールドとして、子供達とかつて子供だった親たちオトナ達と共に自然の中に入り、生き物に触れ、遊び、感じ、癒され、育まれるよう、活動を展開しています。

4年目の活動となるこの1年も、住宅地にわずかに残された自然である里の川での生きもの探し、豊かな自然の残る手稲山での生きもの探しやタネ拾いタネ播き、そして木登りやクラフトなど、さまざまな体験活動を展開してきました。また医療福祉分野との交流・情報交換を目的に勉強会・体験会「森・川とこころ 育つ育てられる」を5回にわたり実施しました。これらの活動について紹介します。



2007年秋の活動

<川の生きもの調べ>

案内人：姫田 丞(スタッフ)

手稲山から流れる川で、どんな場所にどんな生き物がいるか、川に入って調べています。

2004年から北海道工業大学環境デザイン学科柳井ゼミの柳井教授はじめ大学院生・学生の協力も得て、年3回づつ子供達と手稲の住宅街を流れる川に入っています。07年は環境省・フォレストーズクラブとの協働イベントを挟み2度実施しました。

★9月24日(祝) 川の生きもの調べ



10:00～13:30 中の川(共栄橋下)星置川(ほしみ橋下)

今年の川の生きもの探しは変則的で2回目。天気は良く観察会日和でした。でも季節はすっかり秋で水はちょっと冷たかった。初めての子供や大人に、前に来ている子供達がポイントを教えたりしながら、つぎつぎ捕まえ、子どもたち、そして(子どもより?)夢中になってくれた大人たちの活躍もあって、多くの生き物が観察できました。



子どもたちがする体験は服や靴が濡れてしまったことを補って余りあるもので、そのために「未知のもの」や「多様な生き物」との出会い・発見の喜びや感激を分かち合える大人がいることが大事とR.カーソンもいっていたようですし、大人が楽しむこともとても重要なのです(ぜったい)。もちろん私も大変楽しみました。

中の川(水温13.1℃)

ウキゴリ、トミヨ、モクズガニ、スジエビ、ヌマエビ、コオイムシ、ヘビトンボ幼虫、カワニナ



星置川(水温14.8℃)

ヤマメ、ウグイ属sp、フクドジョウ、ドジョウ、ヌマチチブ、ウキゴリ、トウヨシノボリ、ハナカジカ、モクズガニ、スジエビ、ヨコエビsp、ミズカマキリ、ヘビトンボ幼虫、コオニヤンマ幼虫、カワトンボ科sp幼虫、カワニナ、シマイシビル

お昼は秋の陽射しのもと、サケの遡上も観察して(川底にはイクラも!)、川原でゆっくり持ち寄った肉や魚を焼いて、ひととき愉しく過ごしました。(姫田)

2007年秋～2008年冬の活動

★10月20日(土) 森でタネ拾い、タネ播き



10:00～14:30 稲雲高校上の林、富丘西公園 手稲コミュニティーセンター

手稲山の麓に残された雑木林で、森の樹のタネ拾いをして、これらのタネ播きをしました。

今年はアオダモが5年ぶりの豊作で、たくさん採りました。あとの樹種はわりと不作でしたが、コブシやイタヤカエデやドングリ等採りました。

旧道沿いから富丘西公園と廻り、木登りも楽しんだあと、室内に戻って採れたタネを調べて分けて、森の動物と樹のタネとの関係についても学んだあと、将来森になることを期待しながら、みんなで種まきをしました。



★1月27日(日) 手稲山麓 雪の中には何がいるかな？



10:00～14:00 軽川上流 稲雲高校上の森 手稲高台会館

ササがまだ少し出ている林をスノーシューで入って行きました。フィールドビンゴで動物の足跡やサルノコシカケ、シカの食べた木の皮、セミの死骸などを見つけながら歩きました。それから雪の断面観察もしてみました。

そのあと、温かくて美味しいスープをいただき、ソリ滑りで子供もオトナも存分に遊びました。



★2月23日(土) 手稲山麓 雪の中には何がいるかな？(2)



10:00～14:00 稲雲高校上の森 手稲コミュニティーセンター児童室

激しい雪の降る中、スノーシューで林へ入って行きました。いつもの通りフィールドビンゴで動物の跡など見つけながら歩きました。そしてなんと、エゾモモンガの飛翔に出会いました。！大歓声・大感激で目に入る雪も物ともせず、一同枝先を見つめましてすごしました。

興奮冷めやらぬまま雪の中、またまたスタッフ山木の温かくて美味しいスープをいただき、ソリ滑したあと、クラフト材料を集めて室内に移動し、クラフトを愉しみました。初の試みでしたが、とても盛り上がり、なかなか止められませんでした。びっくりするほど素敵な作品ができあがりでしたが、ちょっと時間的には物足りなかったです。またゆっくりやりたいですね。



勉強会～いのちに触れる実践者の立場から～「森・川とこころ 育つ、育てられる」

自然に触れることで、生きる力や知恵が得られたり、危険を回避する能力が育まれたりすることは、多くのひとが感じており、教育や福祉の場面でも取り入れられてきています。自然の中でいのちに触れる取り組みの効果や課題とについて考えるため、環境学習・体験活動分野と医療・福祉分野で実践している方々から事例等についてお話いただくとともに、日頃なかなか交流する機会の少ない分野間での情報や意見の交換を行ないました。尚、本事業は(財)秋山記念生命科学振興財団から、社会貢献活動助成をいただいで実施されました。4月末には報告書を印刷し、配布する予定です。

★7月3日(火) (1)講演会 森林の保健機能の研究者から「知的障害者のための森林活用プログラム」 北海道立林業試験場保健機能科長 佐藤孝弘氏

- ★8月24日(金) (2)講演会 自閉症・発達障害支援の現場から
札幌市自閉症・発達障害支援センターおがる相談課長 加藤 潔氏
- ★9月30日(日) (3)森林療法体験会 森林療法事業の実施者から
NPO法人 森の生活 代表 奈須 憲一郎氏
- ★10月13日(土) (4)雑木林体験会 苫小牧東部 草苺健氏管理地
- ★11月18日(日) (5)講演会 森林療法の指導・研究者から
NPO法人日本森林療法協会理事長 上原巖氏(東京農大助教授)
- ★3月4日(火) (6)まとめの会



森林療法体験会の様子

その他の活動

★3月22日(木)【講演会】川と周辺の生態系、そして里川体験活動から
手稲さと川探検隊スタート当初から3年間、特に川の生きもの調べで中心になって活躍したスタッフ北海道工業大学柳井ゼミの大学院生大塚武くんが、修了就職のため会を離れることになりました。最後にこの間の貴重な体験と遺言としての発表をしました。感謝と共に今後の活躍に大いに期待します。

★3月21日～24日『環境 っいいね』パネル展示他(JR手稲駅あいくる)
手稲区内で活動する環境関連などの団体「ひまわりの種の会」「子育て支援ワーカーズ プーのいえ」「北海道工業大学 雪かき隊」とともに、手稲区地域振興課の協力を得て、手稲駅あいくるにおいて活動紹介パネル展示と、木のタネクイズをしました。



★4月22日(日)【アースディ】円山動物園

アースディ円山動物園企画に参加し、キリン舎前で活動パネル紹介と生きもの(川の水生昆虫・蛍の幼虫・蛙の卵)展示をしました。蛙の卵が意外と大人気でした。訪れた子供たちとドングリをポットに播きまし
★5月13日(日)【アースディ】【ラブアース】自生のホタル生育地を守ろう!「生息地の河川清掃」と「生息地の樹木のタネ播き」
～(西区ホタルの会共催)



ホタル自生地の清掃の後、ホタルの小川が造成される五天山公園に移動して昨年秋に採取したミズナラのタネ播きをしました。

★6月16日(日) 身近な水環境の全国一斉調査・フラワーソン北海道
これら2つの調査に参加しました。手稲山麓のカッコウの森キャンプ場の散策路でフラワーソン、中の川・手稲土功川・星置川で水質調査をしました。



★9月1日(日) Envision森の幼稚園(川辺編) 琴似発寒川平和湖
ボランティアで招かれ、お手伝いをしました。ゴムボートありスイカ割りあり、川遊びをのんびりいっぱいしました。魚はいつもと全く違っていました。1箇所でのんびりってのもいいねえ・・・

★10月27日(土) 道民の森づくりネットワークのつどい 道庁赤レンガ前広場

3回目となる今回はなんと朝採りの魚たちを展示し、大好評でした! スタッフ姫田・佐藤、よくぞ採ったな～

★樹木の苗の育成



～地域に自生している樹木から
採ったタネを播いて育てています～

街の中を流れる川にはもう河畔林もなく、そもそもこの辺りには林もなく、だからもともと棲んでいた生き物はいなくなっていました。川の周りに兔や鳥たちが住める林があったら、それが手稲山とつながったら、札幌の周りをぐるりとつながったら、素晴らしいと思います。近隣地域での植樹やアースウォーカー中溪宏一さんにも苗を提供しています。そして何よりタネを採り苗を育てるのは、本当に楽しいことです。苗木づくりは誰もが参加できる未来に地球につながる活動。様々な人達と活動していきます。

<今、育てている木>ミズナラ、ホオノキ、エゾヤマザクラ、イタヤカエデ、ハルニレ、オヒョウ、アオダモ他

2008年春～夏 主な活動予定

- 5月 10日 春の林で遊ぼう、木のタネ播き・苗の植替え(手稲山麓)
- 5月 31日 川の生きもの調べ(水生昆虫モニタリング調査体験会 中の川・手稲土功川・星置川)
- 6月 7日 講演会 手稲の自然 知ろう、守ろう、遊んじゃおう(13:30～手稲区民センター)
- 6月 21日 初夏の森で生きもの探しとみちづくり(10:00～14:00手稲山麓)
- 7月 19日 川の生きもの調べ(1) (10:00～14:00 中の川・星置川)
- 8月 9日 川の生きもの調べ(2) (同上) ※日程は、状況により変更する事があります。事前にご確認下さい。

手稲の川で見つけた生き物たち

これまでの川の生きもの調べで採集された おもな生き物たちを紹介します。

スナヤツメ	カワニナ
ウグイ	モノアラガイ
ハナカジカ	スジエビ
フクドジョウ	ヌマエビ
ドジョウ	モクズガニ
サケ	ヨコエビ
シマウキゴリ	コオニヤンマ
ウキゴリ	ヘビトンボ
トウヨシノボリ	ニンギョウトビケラ
ヌマチチブ	マツモムシ
サクラマス(ヤマメ)	コオイムシ
エゾトミヨ	ミズカマキリ
イバラトミヨ	アメンボ
	ガガンボ
	シマイシビル

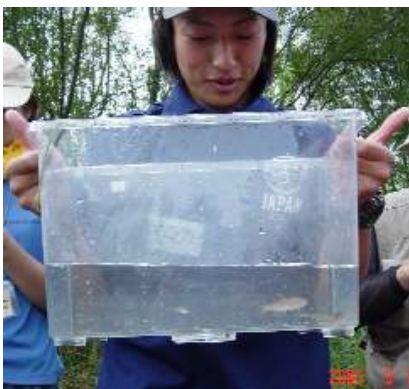


会員募集中！

★手稲さと川探検隊の仲間になりませんか？

手稲さと川探検隊では、2008年度の会員とボランティア・スタッフを募集しています。

1. 探検隊員: 川の生きもの調べなどのイベントに参加できる方
 年会費: 1人1,000円 (ファミリー隊員 1家族1,800円)
 ※全てのイベントの参加料が半額となります。
2. 応援隊員: 手稲さと川探検隊の活動を応援して下さる方
 活動応援費: 1口 500円 ※イベント等のご案内、ニュースレターの送付などをさせていただきます。
3. ボランティア・スタッフ: 各イベントの企画・実施サポート、広報などお手伝いして下さる方



手稲さと川探検隊

市民活動サポートセンター登録No.40741

代表 鈴木 玲 Suzuki Akira

E-mail aasuzuki@pop11.odn.ne.jp

Tel 080-1891-7847 Fax 011-684-4487

〒006-0807 札幌市手稲区新発寒7条6丁目8-19

手稲さと川探検隊ホームページ

<http://t-satogawa.hp.infoseek.co.jp/>